



佐藤 博 議員

●危機管理体制について

議員 各種情報を受けた際の対応は。

総務課長 各課長等に周知、災害警戒本部の設置を協議、設置。災害対策本部の設置を検討、設置、1号、2号、3号動員では全職員を招集し、活動します。

議員 夜間・休日を含め、マニュアル化されているか。

総務課長 防災計画・震災計画はマニュアル化している。

議員 6月15日の爆破予告メールに対する当日の対応は。

総務課長 9時ごろに、職員による身の回りの点検、下仁田交番に相談に伺った。富岡署の対応となるとの指示があり、富岡署へは9時40分ごろ相談に伺い、署員が駆けつけ、職員と一緒に、不審物がな

議員 このような危機管理の対応にも、マニュアルの作成は必要。

総務課長 検討中ですが、防災計画等の見直しを行い、マニュアルを作成したい。

議員 個別受信機の設置数と下仁田インフォ

総務課長 個別受信機の設置は661個。下仁

田インフォメールの登録は666名です。

議員 歩数計の配布数と、緊急通報装置の設置数は。

保健環境課長 歩数計は80人です。

健康課長 緊急通報装置は高齢者世帯62台です。

●スマホ全戸配布計画について

議員 全戸配布に関する事業は全て終了ですね。

町長 実験が終了し、有益と思われることにつきましましては今後検討していく。

議員 終結宣言しませんか。

町長 最有力と解釈しており、進めるに値する。

議員 全戸配布でなくても、対策はとれる。

●公約について

議員 副町長の選任について、公約に反する。

町長 27年3月の議会

で、大多数、1人反対で同意をいただいた。8年前とは事情が異なっており、それらを加味した。

議員 公約の取り消しはあり得ない。何年たつても公約は公約だ。公人たる政治家はそうあるべき。下仁田小学校へのアクセス道路の整備について、進捗状況は。

建設ガス水道課長 県代行で進めている仲町新道に接続する形で整備予定、9月から現地の詳細測量に着手する。

議員 いつ完成する予定か。

町長 地域の要望を得て始めた道路に併設しており、その道路の完成を目指している。

議員 測量の承諾書はとったのか、承諾の必要はないのか。

建設ガス水道課長 承諾

は必要ですが、承諾書までは必要はないと思います。

議員 町長の答弁に「同意を得た」という言葉

がありました。2月10日に説明会があったが、その後には何の話もない、了承していないよ」という地権者がいる。地権者とよく話し合う必要がある。

町長 県で進めている統合の問題は、下仁田高校が存続できるという経緯になり、そういった努力を、発言をしてきたという経緯です。

議員 下仁田消防署西牧分遣所の存続は、どんな計画になつておるか。

総務課長 平成38年度に分遣所を閉鎖する計画である。

議員 10年後に閉鎖か。分遣所の存続を公約された、どうなったのか。

か。

町長 分遣所のお話は数年前から話が始まり、存続については、地元の人達、区長、議員各位からもご支援、ご協力をいただいて、存続の方向で今までできたという経緯です。

議員 下仁田厚生病院について、21年度、22年度は黒字経営と思うが。

健康課長 21、22の黒字は認識している。

議員 建設とあわせ赤字に転落、現在は15億円の累積赤字。公約に、病院経営に対する理想を掲げた。どんな努力をいただけたのか。

町長 病院のこの発言は控えさせていただき

ます。地域の医療として必要なところに投資をし、病院の建設をした。大事な事業を成功させたと考えている。

議員 病院議会の内容の質問ではない、公約に関する質問でした。